

熱く燃えた 二日間

南薩摩最大の夏祭り「さつま黒潮『きばらん海』枕崎港まつり」

つま黒潮『きばらん海』枕

崎港まつり」が8月6・7

日、枕崎漁港や市街地で開

催され、2日間で延べ11万

人の人出でにぎわいました。

初日のメインイベントは総踊り。歩行者天国になつた海岸通りで、37団体約2500人が、浴衣やハッピのほか様々な衣装で枕崎音頭や新しく加わった「きばらん海」などを楽しく踊りました。

2日目も様々な催しが行われました。大漁みこしでは40基が市街地を威勢よく練り歩きました。また、恒例となつたFMラジオの公開録音も行われ、ゲストバンドが祭りを盛り上げました。祭りのフィナーレは九州で唯一となる三尺玉花火が上がり、夜空を鮮やかに彩りました。



総踊りは枕崎小学校6年生が2連覇達成



三尺玉花火が夜空を彩り
港を照らす